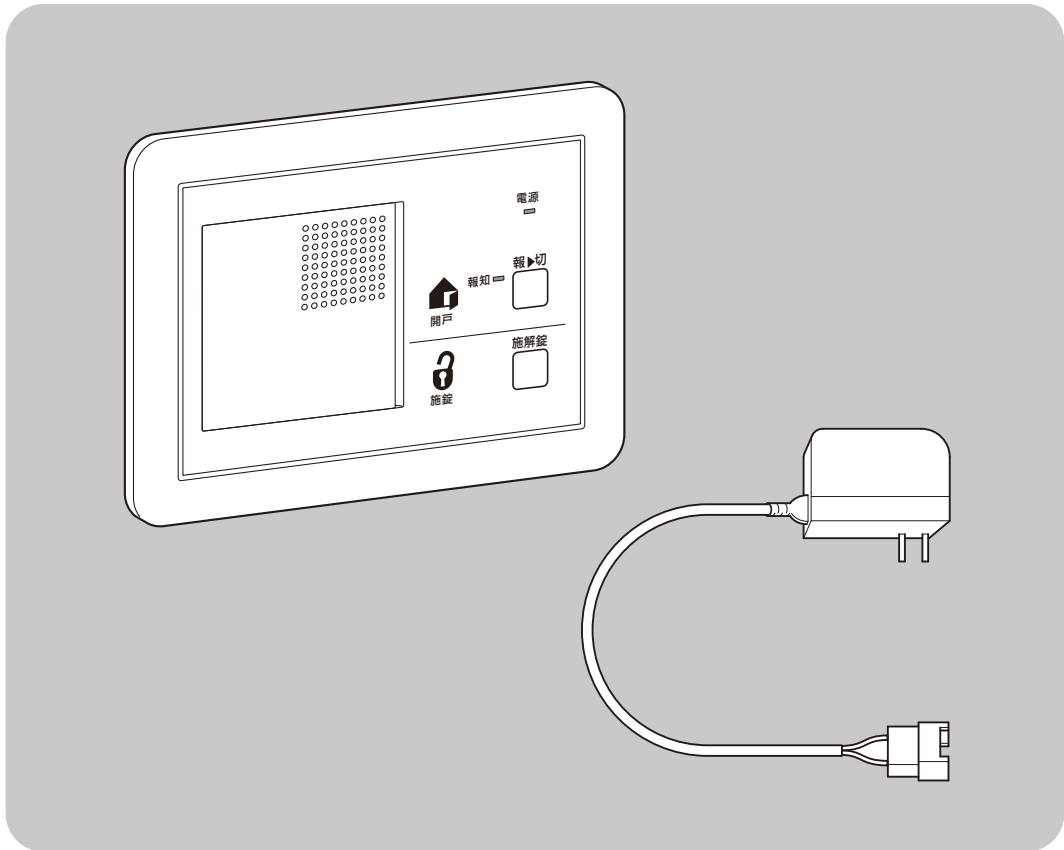


FamiLock AC100V式

取付け説明書



取付け作業にあたって

- この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。



電気錠取扱いポイントブック

電気錠を正しく設置・施工いただくために、各工程ごとの注意点をまとめたポイントBOOKをご確認いただけます。
(設計・組立・施工・電気工事店様向け)
<https://s.lixil.com/door-001>



電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>

目次

	ページ
■取付けされる方へのお願い 機器の設置で注意していただきたいこと	1
■システム構成と作業手順	
取付け部品一覧	2
電気錠取付け手順	3
梱包内容の確認	3
■ドア枠への部品取付け	
躯体内配線コードの接続	4
■ドア本体への部品取付け	
①シリンダーの取付け	5
②コネクターの接続、把手の取付け	6・7
■建付け調整	
①ストライクの調整 -1 〈上側ストライク〉	
②ストライクの調整 -2 〈上側ストライク、下側ストライク〉	
■ AC アダプターの取付け	8
■機器の取付け、配線工事	
コントローラーユニットの取付け	9
配線工事方法	10・11
パナソニック製 外でもドアホン 使用時の接続について	12
システム配線図（オプション品）	13
■作動確認	
AC アダプター式の作動確認	
コントローラーユニット式の 作動確認	14
カードキー、タグキー、リモコン を使った作動確認	15
ドアのブザー音とLED 表示について	16
コントローラーユニットの ブザー音と表示について	17
■商品仕様	18

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

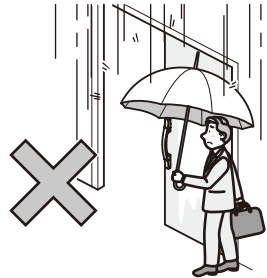
▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

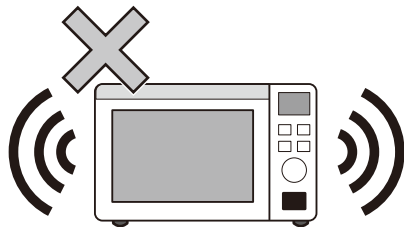
- 電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行うと事故や故障につながるおそれがあります。
- AC100V用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。差込みが不十分な場合、火災や破損のおそれがあります。
- コントローラーユニットなどAC100Vを直接接続する機器の取付けは、ブレーカー(AC100V)を切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

機器の設置で注意していただきたいこと

- 次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。
- ・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかるところ。



- ・他の電波式機器から2m以内のところ。
- ・電子レンジなどの電波を出す電化製品から2m以内のところ。



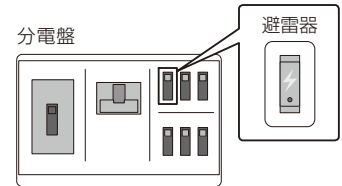
- ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
- ・本製品の使用環境温度範囲は-10℃~50℃、使用周囲湿度範囲は20%~90% RHです。温度が上昇するところ(直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど)や-10℃よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気が多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。

機器の設置で注意していただきたいこと

- 屋内に取付ける機器(コントローラーユニットなど)は、次のような設置場所は避けてください。故障や感電等の原因になります。
- ・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
- ・極端に寒い場所・暑い場所(冷暖房の近くや直射日光の当たる場所)
- ・ガラス窓から近い場所(ガラスを破られ、施錠ボタンから解錠されることがあります。)

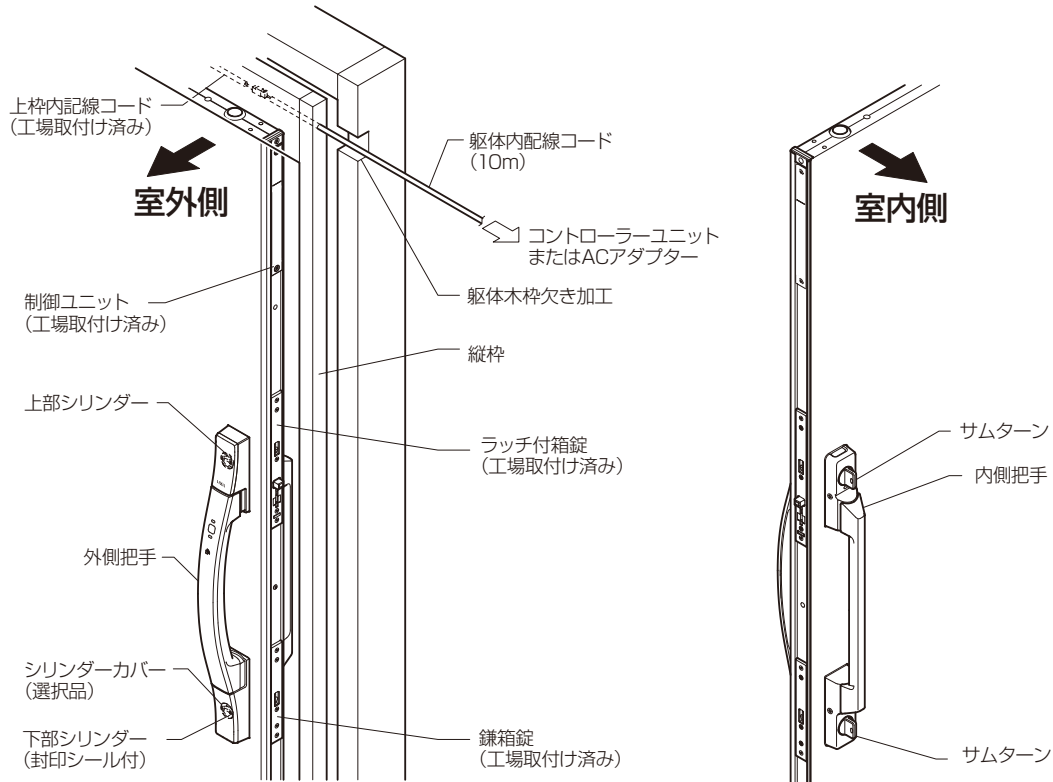


- 玄関ドアとコントローラーユニット間が付属の躯体内配線コード(10m)で届かない場合は専用の躯体内配線コード(15m、20m)に取り換えてください。配線を継ぎ足す延長はできません。
- 避雷器の設置をおすすめします。避雷器によって雷サージから機器を保護することができ、トラブルを未然に防ぐことができます。



システム構成と作業手順

■取付け部品一覧



■電気錠取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。作業区分がサッシ工事と電気工事に分かりますので作業に抜けやモレが無きように進めてください。

サッシ工事区分

ドア枠の組立て、部品の取付け

■躯体内配線コード (10m) の接続 → (P.4)

ドア本体へ部品の取付け

①シリンダーの取付け → (P.5)

②コネクタの接続、把手の取付け → (P.6~7)

躯体へのドアの取付け、建付け調整

■躯体木枠への配線用切り欠き加工 (※) → 『枠の取付説明書』

■本体を枠に吊り込み

■ストライクの調整 → (P.8)

電気工事区分

機器の取付け、配線工事

■ AC アダプターの取付け → (P.8)

■ コントローラーユニットの取付け → (P.9)

■ 配線工事方法 → (P.10~13)

作動確認

■ AC アダプター式の作動確認 → (P.14)

■ コントローラーユニット式の作動確認 → (P.14)

■ カードキー、タグキー、リモコンを使った作動確認 → (P.15)

※)本紙には「躯体木枠への配線用切り欠き加工」についての記載がありません。枠に同梱されている「(枠)取付け説明書」を参考に作業を行ってください。(大工工事も含まれます)

■梱包内容の確認

●部品箱(仕様等の詳細は P.18を参照ください)

または

(クリアケース入り) カードキー 3枚

タグキー 3個

リモコン (部品箱リモコン入りの場合のみ同梱)

10m 躯体内配線コード

取扱い説明書かんたん設定ガイド

取付け説明書(本書)

ACアダプターセット

または

コントローラーユニットセット(オプション)

コントローラーユニット本体

化粧プレート

プレート

取付け説明書 1枚

端子カバー

JEM-A 接続コード (0.4m)

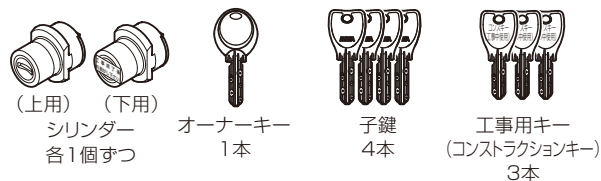
オプションケーブル ※通常は使用しません。

●把手セット

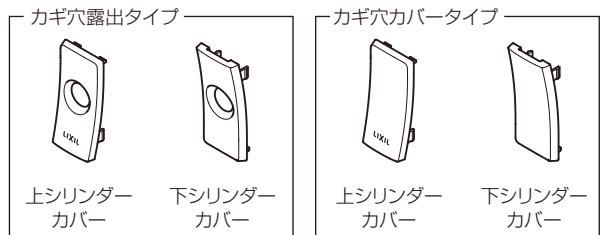
外側把手		内側把手	
		(予備サムターンキー 1個)	
台座プレート	皿小ねじ M5×20	薄平小ねじ M4×12	なべ小ねじ M5×30
(上) (下) 各1個	(台座プレート取付け用) 4本	(内側把手取付け用) 4本	(シリンダー取付け用) 4本

■別途手配品

・シリンダーセット



・シリンダーカバーセット



※シリンダー部…カギ穴あり/なし選択可能です。
※玄関引戸CEはカギ穴カバータイプのみ

●オプション品

(コントローラーユニットを使用し拡張する場合)

電気錠操作ボタン

シークレットスイッチ

JEM-A アダプター

モニター親機

カメラ玄関子機

ワイヤレスモニター子機(充電台付)

※パナソニック株式会社の製品です。
機器の問合せはパナソニック株式会社へお問合わせください。

初期同梱の 10m では 足りない場合に交換してください。

躯体内配線コード (15・20m)

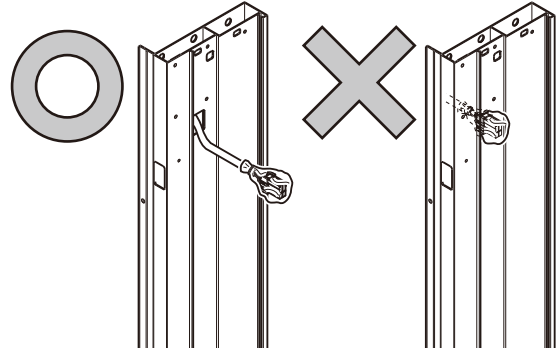
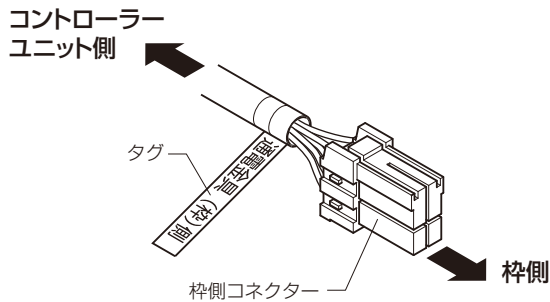
ドア枠への部品取付け

■ 躯体内配線コードの接続

- ※1 躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。
- ※2 部品箱に躯体内配線コード（10m）が同梱されています。長さが足りない場合は、別途有償品の躯体内配線コード（15m、20m）を手配してください。初期同梱の10m配線からの継ぎ足し延長はできません。

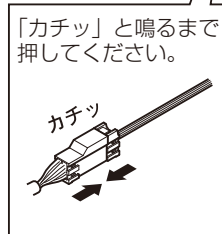
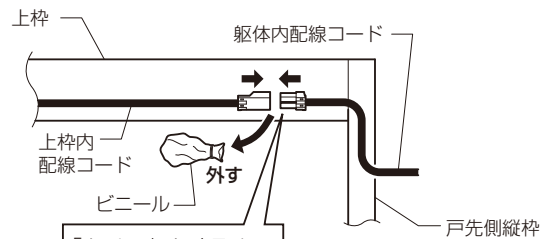
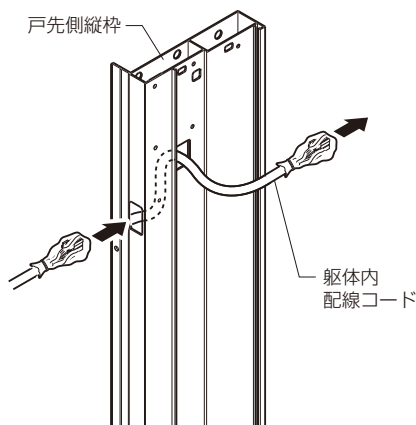
お願い

- ① 躯体内配線コードは、コネクタ形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線コードの向きが正しいことを確認してください。
- ② 躯体内配線コードの枠側コネクタは上枠内でコネクタ接続しますので、切欠き穴から確実に引き出してください。

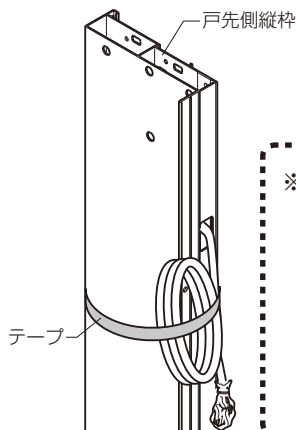


- ③ 躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。

- ① 躯体内配線コードを戸先側縦枠に通してください。
- ② コネクタを上枠内配線コードに接続します。



- ③ 躯体側の配線をテープなどでまとめます。



お願い

※ ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合の原因やメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。躯体側コネクタのビニールはコネクタ接続時まで剥がさないでください。

お願い

※ コネクタ部は、上枠内に収納してください。メンテナンス時に部品の点検・交換ができなくなります。
 ※ 躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などがないようにしてください。

ドア本体への部品取付け

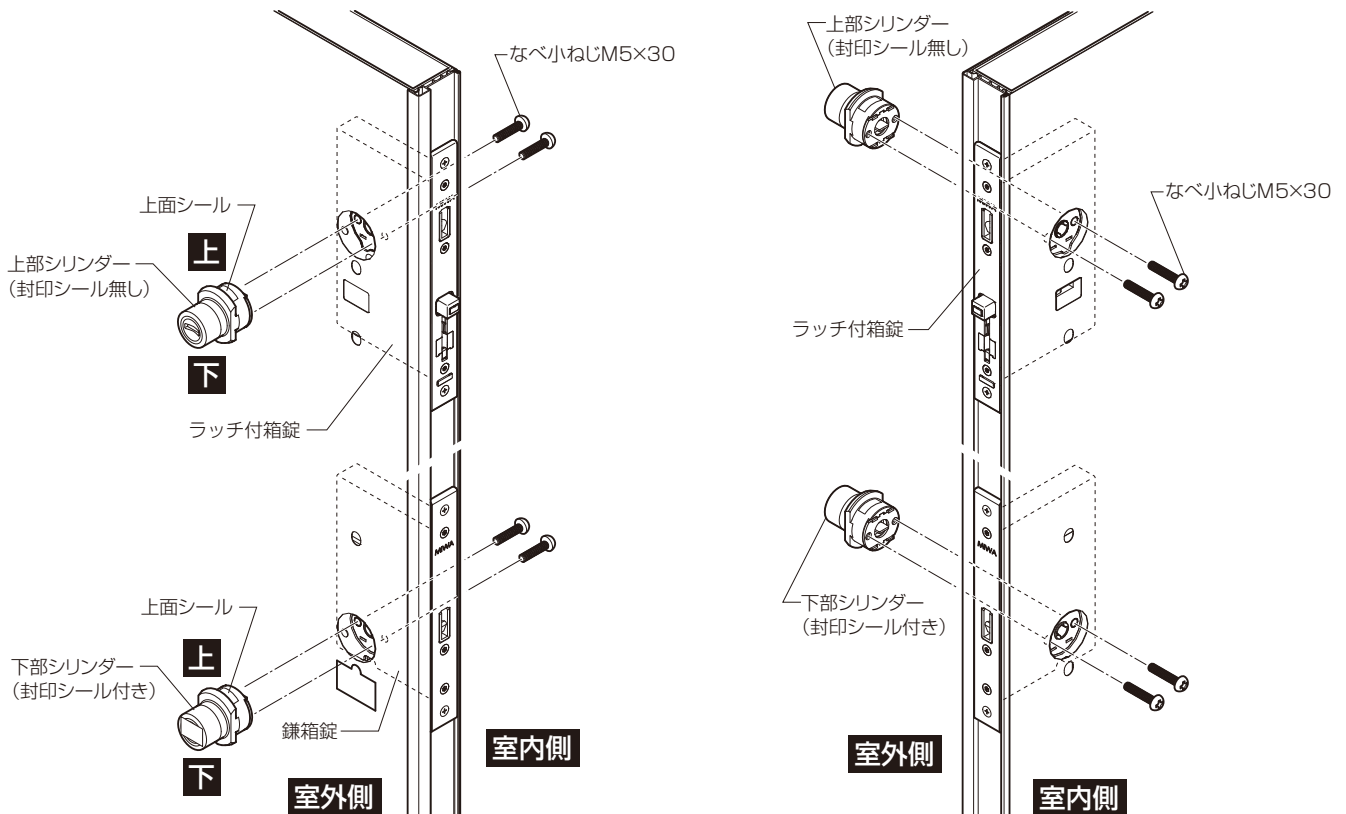
① シリンダーの取付け

①-1 上部シリンダーの取付け

- ① 上部シリンダー(封印シール無し)の「上面」シールを上に向けます。
- ② シリンダー背面の出っ張り(4ヵ所)を、ラッチ付箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
- ③ 室内側から、シリンダーを箱錠になべ小ねじで固定します。

①-2 下部シリンダーの取付け

- ① 下部シリンダー(封印シール付き)の「上面」シールを上に向けます。(封印シール文字が読めるように上に向けます。)
- ② シリンダー背面の出っ張り(4ヵ所)を、鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
- ③ 室内側から、シリンダーを箱錠になべ小ねじで固定します。



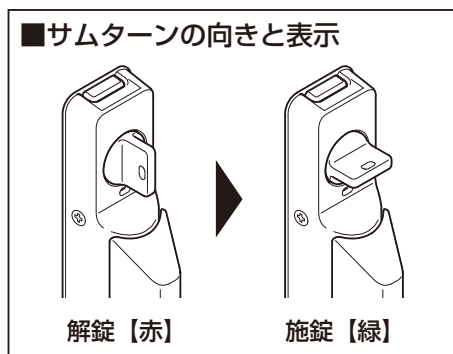
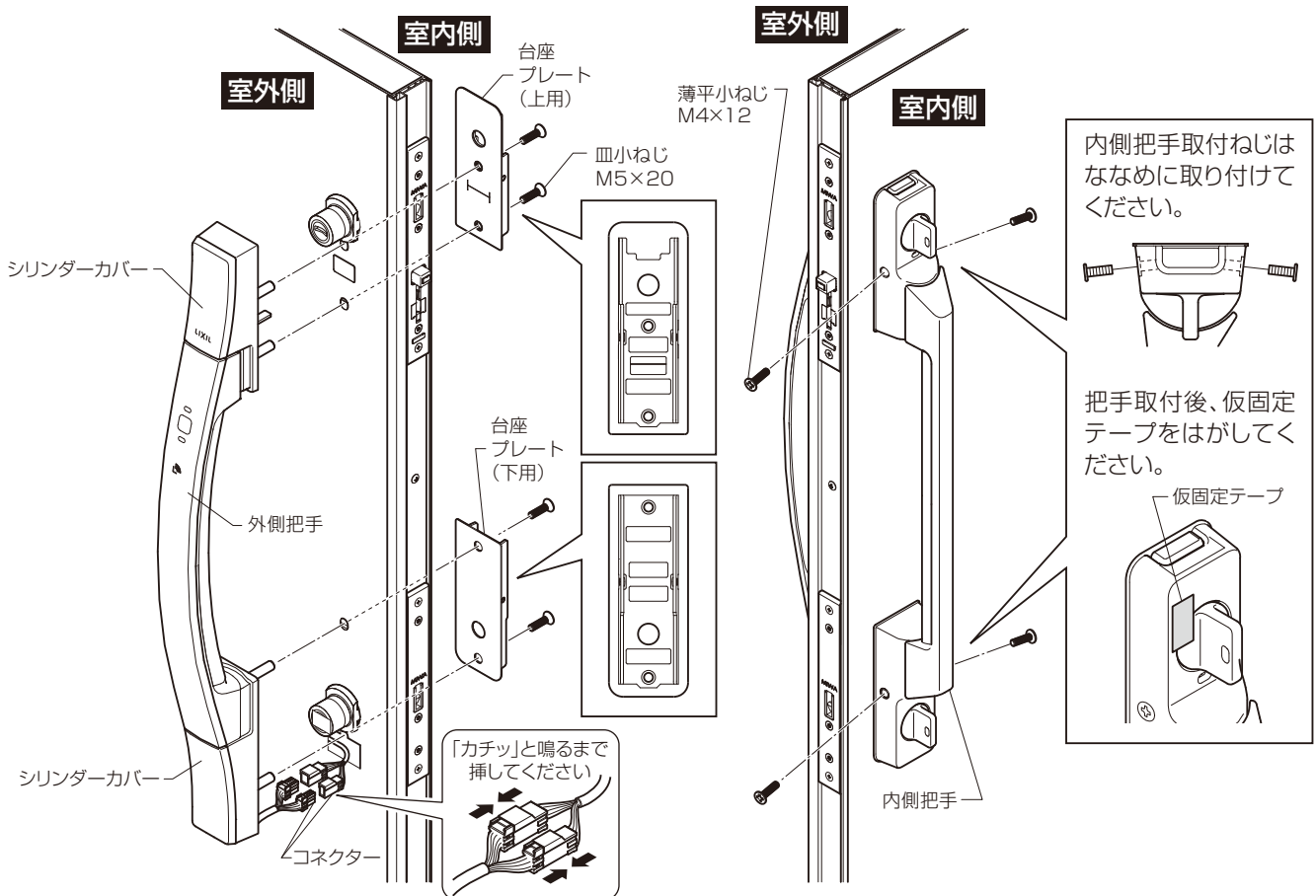
■ コンストラクション装置について

- 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
- 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。



②コネクターの接続、把手の取付け

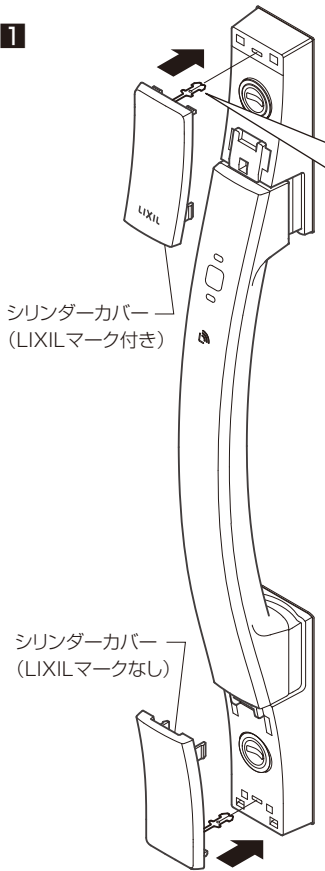
- ①ドア本体の把手取付け加工(下部)からコネクターを引き出します。
- ②外側把手のコネクターが出ている側を下に向けます。
- ③コネクターを接続します。
- ④外側把手を室外側からドアの切欠きに合わせて差込みます。(落下防止のため、⑤で固定するまで手を離さないでください。) このとき、余った配線はドア本体内に収納し、把手の取付け時に配線を挟み込まないように十分注意してください。
- ⑤台座プレートと外側把手を皿小ねじで固定します。
- ⑥サムターンを縦にした状態で、サムターンの軸を上下箱錠の穴に合わせ、内側把手を台座プレートに差込みます。
- ⑦内側把手を薄平小ねじで台座プレートに固定します。
- ⑧外側把手にシリンダーカバーを取付けます。(P.7「シリンダーカバーの取付け方法」参照)



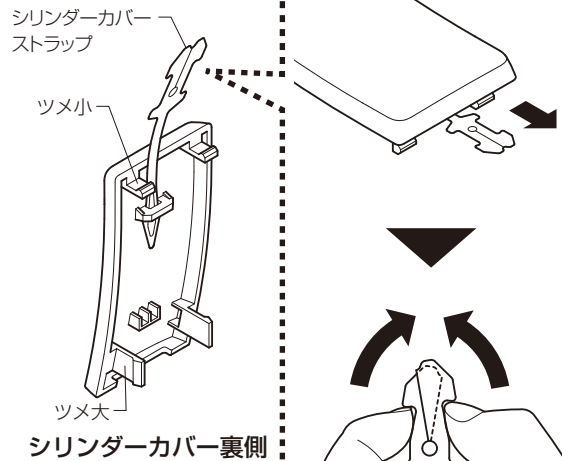
■シリンダーカバーの取付け方法

- シリンダーカバーはキズ・破損防止のため、施工完了後に取り付けてください。
- ※シリンダーカバーカギ穴露出タイプの場合は**2**のみ

1

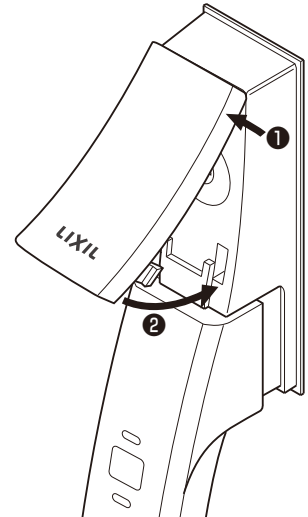


シリンダーカバーストラップを引出し、先端が細くなるように交差させ、シリンダー台座についている穴に差込んでください。
※取付けの向きに注意してください。

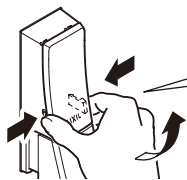


2

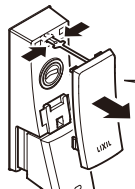
シリンダーカバー先端のツメ小を、先に台座の溝にはめ、**(1)** ツメ大からカチッと音がするまで確実に閉めてください。**(2)**



■シリンダーカバーの外し方

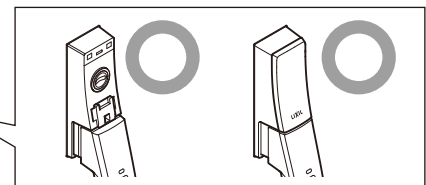
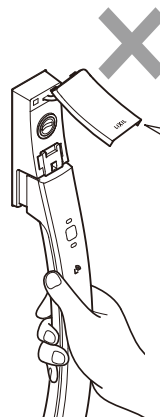


シリンダーカバーの下部(グリップに近い部分)を軽くつまんで引っ張ると外れます。



ストラップの側面を押しながら引き抜いてください。

■把手操作時のお願い

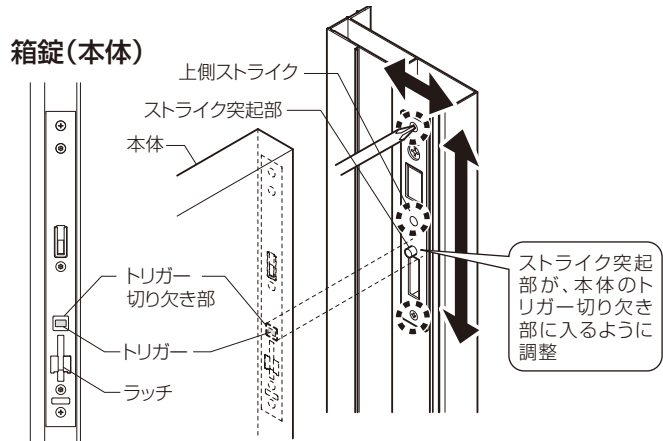


シリンダーカバーをストラップにぶら下げたまま扉を開閉しないでください。シリンダーカバーにキズがつくことがあります。必ずカバーを台座へはめるかストラップから外した状態で操作してください。

建付け調整

①ストライクの調整- 1 <上側ストライク>

- ラッチがかからない場合は、上側ストライクの位置を調整してください。
- ストライクの突起部が箱錠(本体)のトリガー切り欠き部に入るように調整してください。

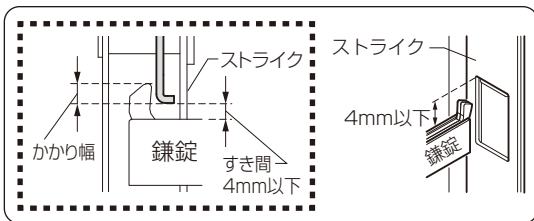


②ストライクの調整- 2 <上側ストライク、下側ストライク>

- 次の①～④の確認を行い、ストライクの調整を実施してください。
- ①ラッチがかかった状態でカギがスムーズにかかるか(ストライクと接触しないか)
- ②鎌錠とストライクのかかり幅が十分確保できているか
- ③エントリー仕様の場合は電動で施解錠できるか
- ④施錠した状態でラッチを解除した際の開方向のガタツキが大きくないか(気密材にすき間ができないか)

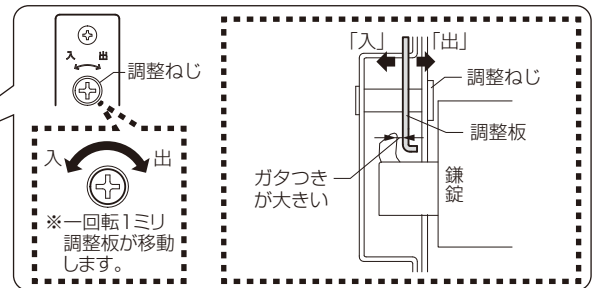
■カギがスムーズにかからない、鎌錠のかかり幅が少ない場合

ストライクの取付けねじをゆるめ上下、室内外の位置を調整してください。ストライクの切り欠き上端と鎌錠の上面のすき間は、4mm以下を目安に調整してください。



■開方向のガタツキが大きい場合

ストライクの調整ねじを回し調整板の位置を調整してください。

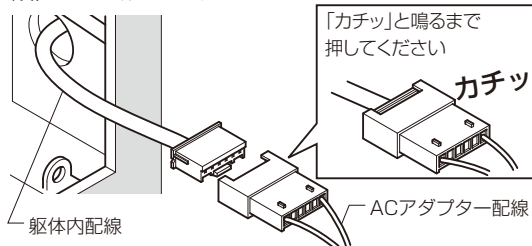


ACアダプターの取付け (ACアダプター式の場合)

※コントローラーユニット式の場合、ACアダプターは付属しません。次頁以降を参照してください。

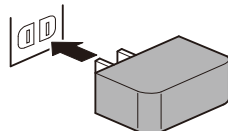
※電気錠の作動にはコントローラーユニットまたはACアダプター(付属品)が必須です。

ACアダプターはお手入れの必要性から右記の設置例の方法を参考に設置してください。



●スイッチボックスより躯体内配線のコネクタを引出しACアダプターのコネクタと接続してください。

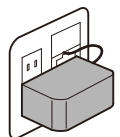
●ACアダプターを100Vのコンセントにしっかり奥まで差し込んでください。



【設置例】

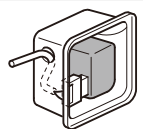
外付けタイプ 推奨(別売品)

- ・埋込扉付ダブルコンセント[WTF13523WK]
- ・埋込通線カバー(取付枠付) [WT9171W]
- ・スイッチ+コンセントプレート[WTC7112W]
- ・スイッチボックス標準型 2コ用 セパレータ付 [DM80202]



点検口納めタイプ 推奨(別売品)

- ・簡易耐火カバープレート(2連用) [WTC7792W]
- ・2コ用 スwitchボックス(カバー付) [DS4912]
- ※金属製
- ・埋込抜け止コンセント(シングル) [WN1061SW]



○お願い

- ※ ACアダプターをコンセントから抜いた際に断線しないよう配線に余裕を持たせ設置してください。
- ※スイッチボックス内に納める場合は必ず点検口を設けてください。露出して設置する場合は、お子様の手の届かない所へ設置してください。(お手入れできる場所への設置が必要です)
- ※ご使用される方に電気錠のACアダプターであることを説明しホコリによるトラッキング防止のため、定期的なお手入れをお願いしてください。

機器の取付け、配線工事

機器の取付け、配線工事をするには電気工事士の資格が必要です。躯体内配線コードの設置とACアダプターをコンセントへ挿し込む作業のみの場合は電気工事士の資格は不要です。

■コントローラーユニットの取付け

※コントローラーの取付けは、『(P.1)機器の設置で注意していただきたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

1 ボックス取付けの場合

●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

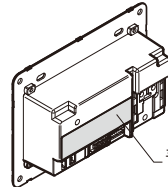
※ねじの締付けトルク(推奨) : 0.6N・m {6kgf・cm}

お願い

※コントローラーユニットは商品ごとに品番が異なります。組み合わせを間違えて接続すると部品の故障につながりますのでご注意ください。

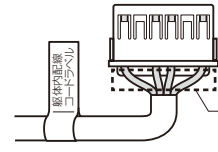
正しい接続のポイント

- ①両部品のラベルの電圧表記が「7.2V」になっていること
- ②ラベルに電圧表記が無い場合コントローラーユニットのラベルが青色で配線が4芯であること



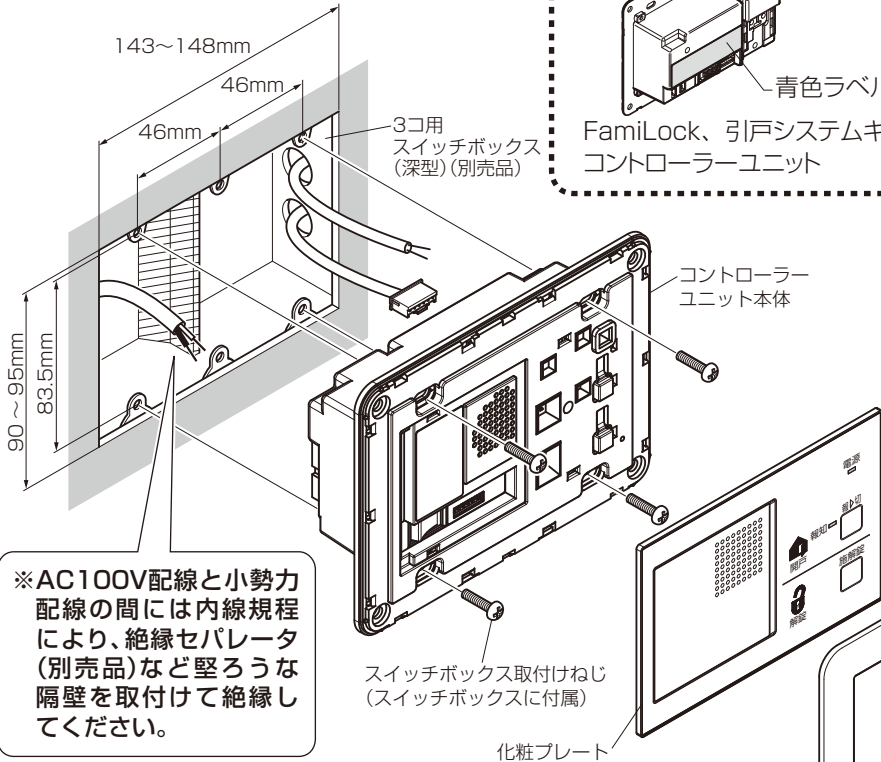
青色ラベル

FamiLock、引戸システムキー用
コントローラーユニット



4芯
(緑,赤,白,黒)

躯体内配線コード



143~148mm

46mm

46mm

3コ用
スイッチボックス
(深型) (別売品)

90~95mm
83.5mm

コントローラー
ユニット本体

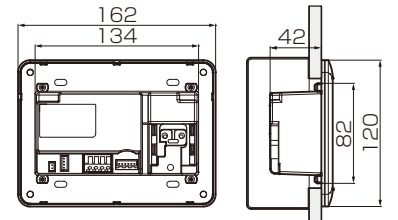
スイッチボックス取付けねじ
(スイッチボックスに付属)

化粧プレート

プレート

※AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータ(別売品)など堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。

■コントローラーユニット詳細寸法



2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は下記事項をお守りください。

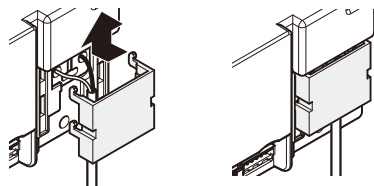
- 1)パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。
- 2)AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。
- 3)壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。
- 4)端子カバーを取付けてください(詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。)
- 5)下記、はさみ金具(別売品)を使用してください。

端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

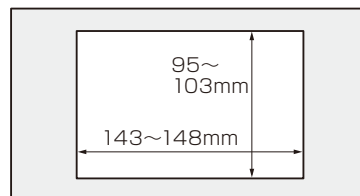
ツメをミゾ(4カ所)に差込み、上へあげます。(外すときは、逆の手順になります。)



■適用はさみ金具(別売品)

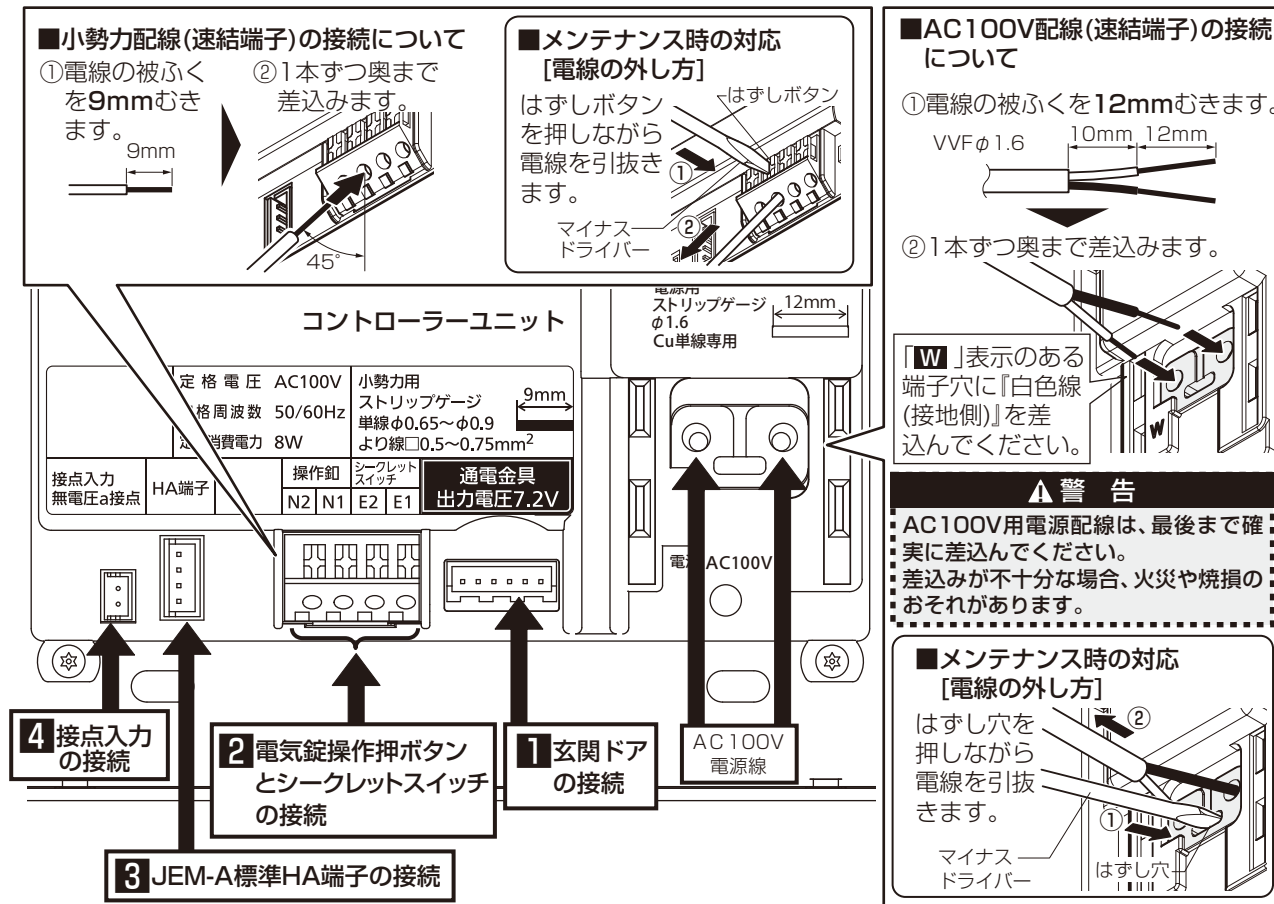
対象壁	パナソニック(株)製 はさみ金具品番
9~30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法



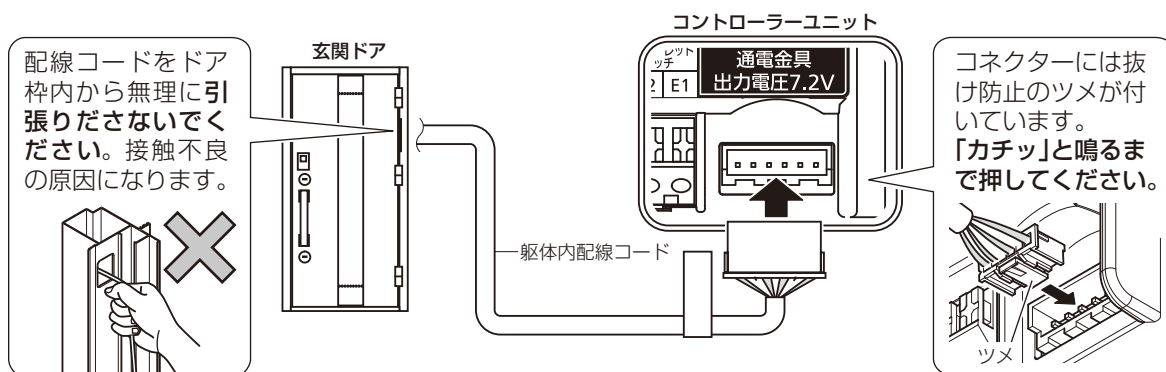
その他オプション品の取付けは、各器機に付属されている説明書に添って作業を行ってください。

■配線工事方法

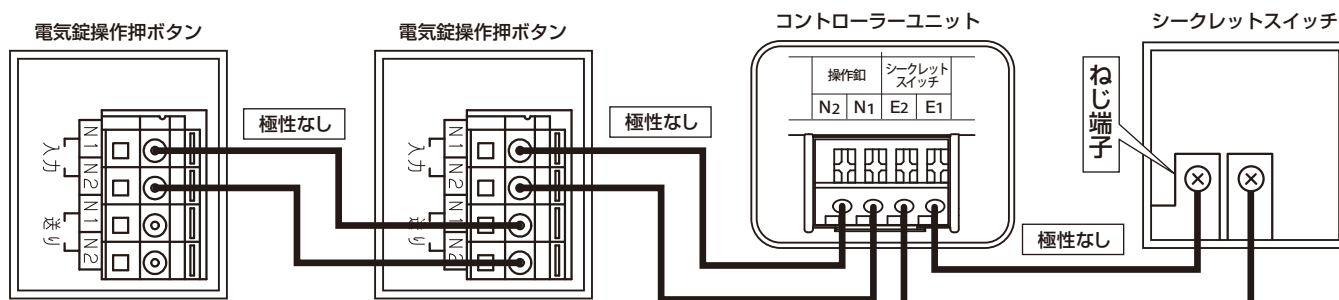


■1 玄関ドアの接続

●躯体内配線コード(10m)が届く範囲にコントローラーユニットを設置してください。
 ※オプションの躯体内配線と交換で最大20mまで延長可能。継ぎ足しによる延長はできません。

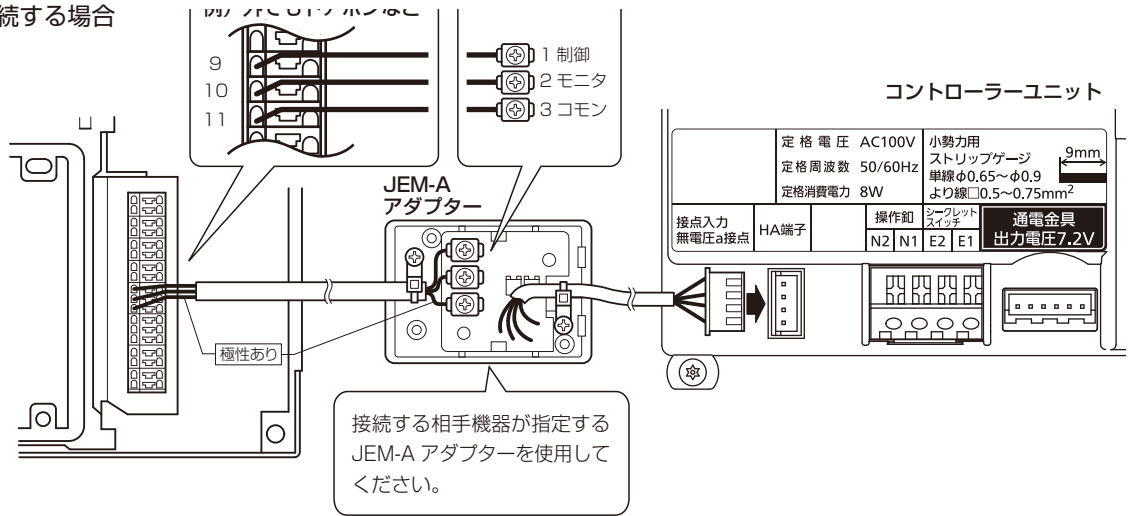


■2 電気錠操作押ボタンとシークレットスイッチ(オプション品)の接続

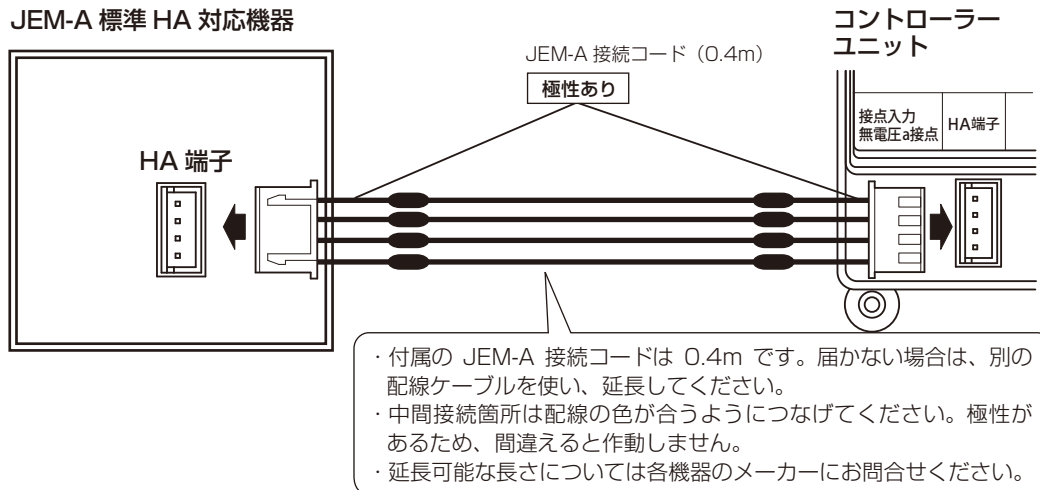


3 JEM-A標準HA端子の接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



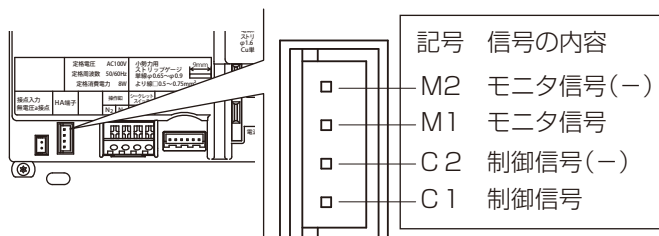
■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する



■JEM-A標準HA端子について

コントローラーユニットはHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠/施錠の遠隔操作を行うことができます。

コントローラーユニットのHA端子について



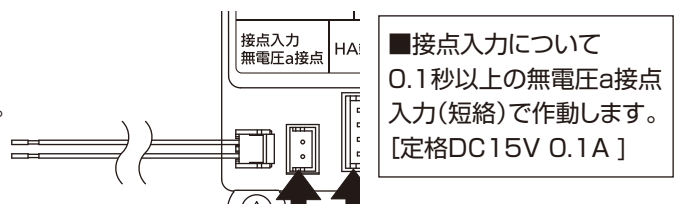
- モニタ信号
 - ・施錠時 M1端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
 - ・解錠時 M1端子がLow(M1-M2端子間に0V)
- 制御信号
 - ・C1-C2端子間に0.2~0.3秒の無電圧a接点入力(短絡)で電気錠が反転動作
 - ※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

4 接点入力の接続

無電圧a接点の入力端子になります。

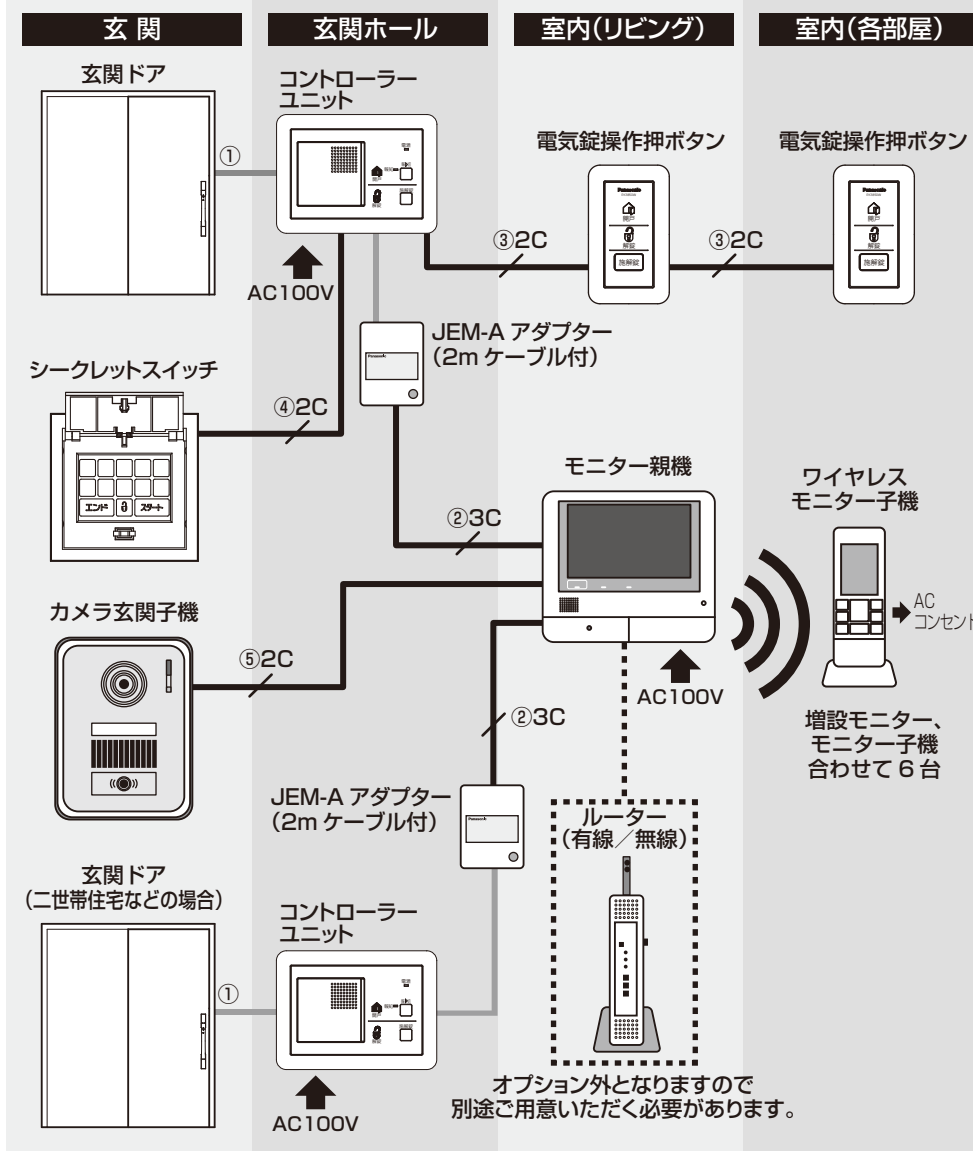
付属のオプションケーブルを使用し、無電圧a接点に対応する他社機器と接続することで接続機器側から電気錠の施錠解錠操作ができます。長さが足りない場合は別途配線を手配し延長してください。
※a接点入力で接続する機器側の作動を保証をするものではありません。接続可否については、機器側のメーカーへお問い合わせください。

※接点入力を使用しない場合、オプションケーブルは接続しないでください。



■パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について

1 接続例



- [] の配線コードは、付属品です。
- [] の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※コントローラーユニットには掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。
※コントローラーユニット式の場合の配線図です。ACアダプター式はドアホンとの連携はできません。(接続はP.13参照)

【同梱品】躯体内配線コード

項	接続先	配線線長
①	コントローラーユニット～玄関ドア	10m (別途手配品 15・20m ※1)

※1) 初期同梱の10mでは足りない場合は、別途15・20mを手配ください。

【現場手配品】

項	接続先	単芯線 (φ0.65~φ0.9) の接続可能距離(※2)
②	JEM-A アダプター～モニター親機	50m
③	コントローラーユニット～電気錠操作	
④	コントローラーユニット～シーレットスイッチ	100m
⑤	モニター親機～玄関子機	

※2) 接続できる単芯線の最大長さです。上記の範囲内での手配をお願いいたします。

※3) 単心線 (φ0.2以上を使用すること)

2 取付け用現場手配部品一覧

商品名	取付け用部材(※1)
コントローラーユニット	JIS 3コ用スイッチボックス(深型)(※2)(※3) パナソニック(株)製 押さえ金具3連(品番:WN3998)(※2)
電気錠操作押ボタン	JIS 1コ用スイッチボックス
取付プレート (操作押ボタン用)	はさみ金具 押さえ金具(1連用)
シーレットスイッチ	JIS 2コ用スイッチボックス(カバー付)
取付プレート (シーレットスイッチ用)	
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3)(※4)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※4)

※配線ケーブルは、「システム配線図」も参考に手配してください。なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。

※1) 各機器の取付けには、上記取付け用部材の内、いずれか1つが必要になります。はさみ金具、押さえ 金具に品番が記載されている場合は、記載されている品番以外のものは使用できません。取付け 用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。(木壁の場合、取付け用部材を使用しなくとも直付け可能な機器もあります。)

※2) 取付けの壁面より、奥行きは47mm以上必要になります。

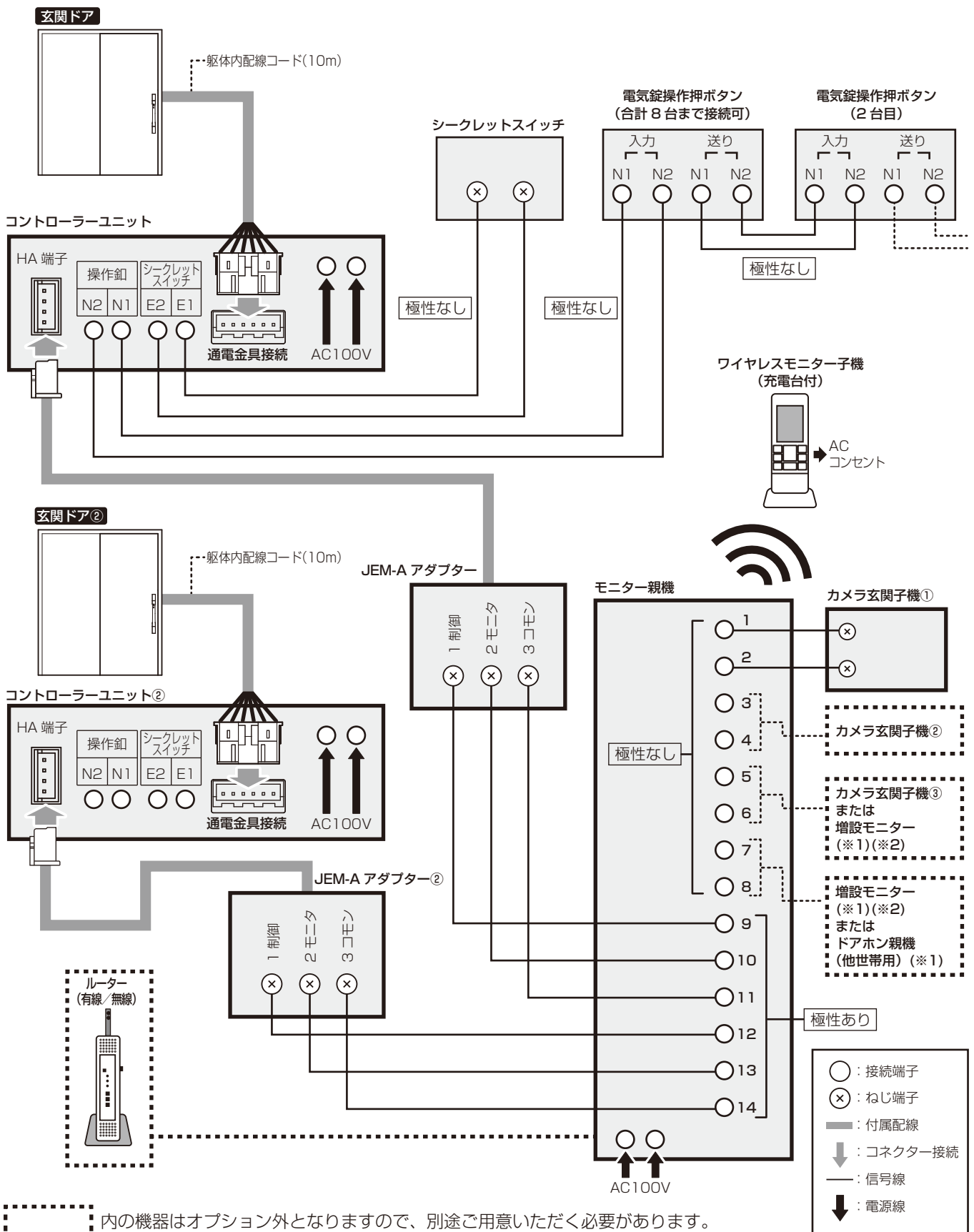
※3) スイッチボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレーターをご使用ください。

※4) 木壁の場合、取付け用部材を使用せず付属の取付ねじで直付け可能です。

※外でもドアホンの施工や追加機器については、外でもドアホン同梱の取扱説明書・施工説明書をご確認ください。併せてパナソニック社のホームページを参照ください。(右記2次元コード参照)



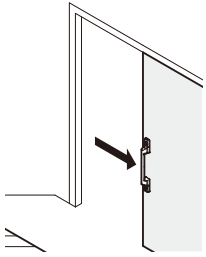
■システム配線図 (オプション品)



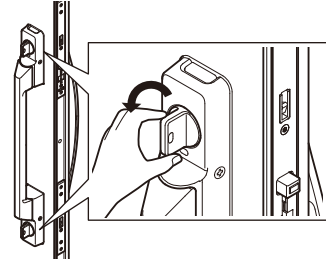
作動確認

■ ACアダプター式の作動確認

① ドアを開けます。



② 上下のサムターンを順番に手で施錠します。



状態

▶ 「ピ音」が5回鳴り
LEDが橙色に
点滅する



▶ 何も起こらない

結果

▶ **正常です。**
引渡し時までACアダプター
を抜いておいてください。

▶ **異常です。**
下記の手順で点検を行い
メンテナンスしてください。

■点検手順

上記の作動確認で
「異常」になった場合
のみ実施してください。

● ドアを開けた
状態でリーダー
のボタンを押す。



状態

▶ 「ピ音」が5回鳴り
LEDが橙色に点滅する

▶ 何も起こらない

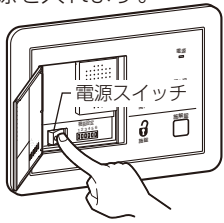
結果

▶ 箱錠との
コネクター接続ができていない

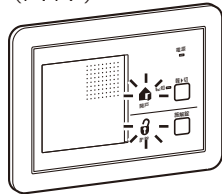
▶ AC100Vが来ていない
・配線が接続されていない

■コントローラーユニット式の作動確認

① コントローラーユニットの
電源を入れます。



② 開戸表示と解錠表示が正しく
点灯、消灯するか確認します。
→(P.17)



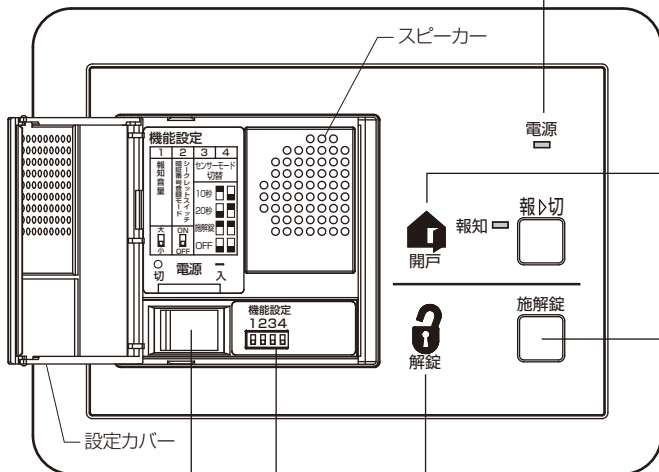
③ ドアを閉め施解錠ボタンを押し、
施解錠できるか確認します。



※入荷時のコントローラー
は未登録状態となっており
施解錠操作できません。
登録するには解錠状態で
5分放置、または施解錠ボ
タンを押してください。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.17を参考に対処してください。

コントローラーユニット



電源表示

電源が入っている時に
緑色で点灯します。



開戸表示

ドアが開いている時に赤色で
点灯します。



施解錠ボタン

ドアが閉まっているときのみ錠の操作ができます。

重要なお願

点検終了時は必ず手でサムターンを回し解錠してください。
施解錠ボタンによる解錠後、電源の入り切りをすると意図せ
ず自動施錠する場合があります、閉め出されるおそれがあります。
特にカードやリモコン登録後は自動で施錠する機能が作動開
始するためご注意ください。

電源スイッチ

電源の入り、
切りができます。

報知音量(スイッチ1)

報知音 (ポロロン)
の音量を大きくできます。

報知音量の調整



シークレットスイッチ 暗証番号登録モード(スイッチ2)

シークレットスイッチ暗証番号登録
モードの電源の入り切りができます。

報知音量の調整



センサーモード切替 (スイッチ3,4)

人感センサ使用時
に切替えます。

※1 表記がなく、「未使用」と記
載のものは対応していません。
施解錠モードになります。

解錠表示

錠が上下2つとも解錠して
いる時に赤色で点灯します。



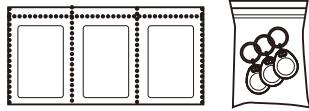
※防犯のため、お施主さま引渡し後、速やかにシークレットスイッチの暗証番号を登録してください。

その他オプション品の設定、作動確認方法は、各機器に付属されている説明書に添って行ってください。
確認後、引渡し時まで電源スイッチをOFFにしてください。

■カードキー・タグキー・リモコンを使った作動確認

①同梱のカードキー3枚またはタグキー3個は未登録です。(以下、「タグキー」は省略)

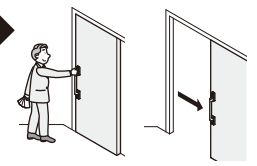
●**カードキー・タグキーの場合**
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。



●**リモコンの場合**
リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。
※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



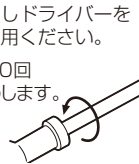
解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。



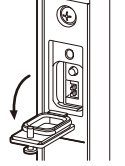
←
室外側

②フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。
約10回まわします。



フタを外します。



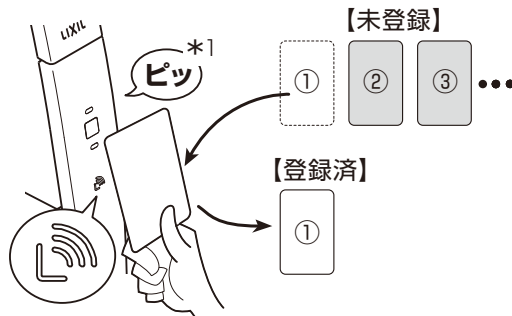
登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



③カードキーとリモコンを登録します。(続けて登録可能です。)

●**カードキーの場合**

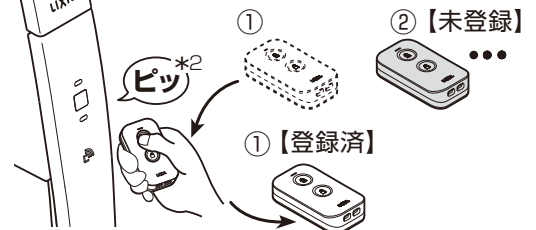
1枚ずつカードキーを「LIXIL」マークにかざし登録します。



*1)登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピー音』が鳴ります。(例:1枚目『ピー』、2枚目『ピー、ピー』)
※最大登録枚数は10枚です。

●**リモコンの場合**

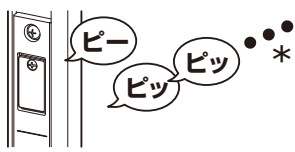
1個ずつリモコンのボタンを押し、登録します。



*2)登録の都度、登録済み個数分だけ『ピー音』が鳴ります。(例:1個目『ピー』、2個目『ピー、ピー』)

※最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
※1つのリモコンに最大10台のドアを登録できます。
11台目のドアを登録すると、リモコンからは1台目のドアの登録情報が自動的に削除されます。

④約30秒待つと登録モードが終了し『ピー』音の後、登録枚数分『ピー』音が鳴ります。*3



*3)登録済みのスマートフォンを含めた、カードキーとリモコンの合計登録個数分鳴ります。

⑤フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



⑥外に出てカードキー、リモコンを使って施解錠の確認を行ってください。

●**カードキーの場合**

タッチボタンを押し、カードキーを「LIXIL」マークにかざします。



●**リモコンの場合**



2つのカギが施解錠することを確認します。



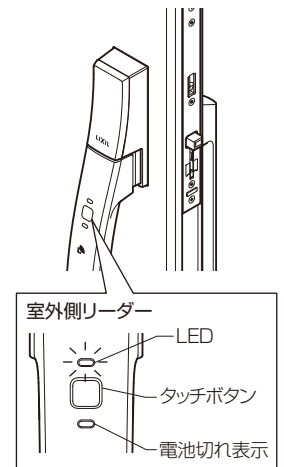
※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.16を参考に対処してください。

●**お願い**

※電気錠操作では上下2ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになりますので、別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。閉め出しのおそれがあります。
※工事中は連動施錠機能をONにしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。





■ドアのブザー音とLED表示について

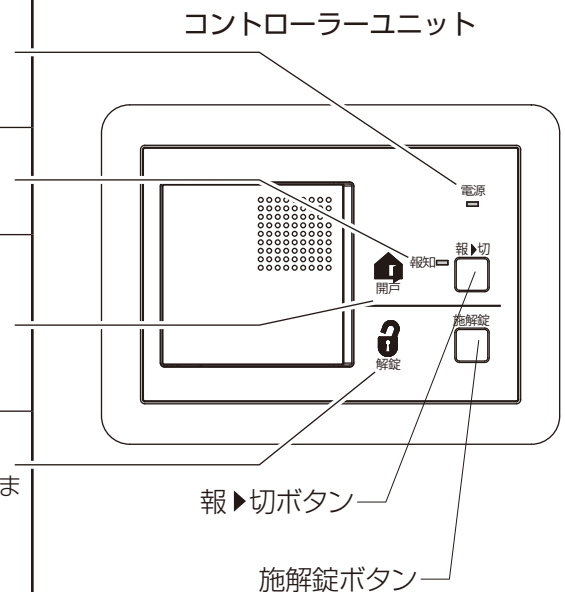
ブザー音	LED表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	施錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	赤色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	解錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ →	施錠できました。
ピッピッ ● ●	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ →	解錠できました。
ピー ●	緑→赤色で交互 に点灯繰り返し ☀ ● ☀ ● …	登録ボタンが押され登録モード に入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅 (アップデート終了まで) ☀ ● ☀ ● …	ファームウェアアップデート状 態へ入りました。




ブザー音	LED表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●●	橙色で点滅 (1.5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	ドアが開いた状態で施解錠操作 が行われました。	ドアを閉めてください。
		施錠状態で登録ボタンが押され ました。	登録の際は解錠状態で行って ください。
		サムターン作動途中でドアが開 けられました	手でサムターンを回し解錠に してからドアを閉めてください。
ピピ × 8 ●● ●● ●● ●● …	橙色点滅 (2.5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	上の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	建付け調整を行ってください。 → (P.8 ■ストライクの調整 参照)
ピピピ × 6 ●●● ●●● ●●● …		下の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3 ●● ●●● ●●● ●●● …		上下の錠 (デッドボルト) がス トライクに接触しています。	
ピーピ × 4 ●● ●● ●● ●● …	橙色で点灯 (5 秒間) ☀ →	制御ユニット、リーダーの故障。 もしくは扉内の配線に異常があります。	部品の交換が必要です。
ピーピピ × 4 ●●● ●●● ●●● ●●● …		上箱錠の取付け不備または故障 しています。	箱錠をドアから完全に取外し、 再度取付けてください。それ でも復帰しない場合は部品の 交換が必要です。 → (P.6)
ピーピピピ × 4 ●●●● ●●●● ●●●● ●●●● …		下箱錠の取付け不備または故障 しています。	
ピーピピ、ピーピピピ × 2 ●●●● ●●●● ●●●● ●●●● ●●●● ●●●● …		上下箱錠の取付け不備または故 障しています。	
ピー × 4 ●● ●● ●● ●● …		リーダーに一時的なエラーが発 生しています。	電源を入/切して再起動して ください。それでも復帰しない 場合は部品の交換が必要で す。
ピー × 8 ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● …	制御ユニットに一時的なエラー が発生しています。		
—	橙色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	玄関キー (カードキーなど) が 登録されていません。(出荷時)	カードキーの登録を行って ください。→ (P.15)
ピッ ●	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ → (作動なし)	玄関キーが登録されていません。 (全末梢後 / 施錠時)	
	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ → (作動なし)	玄関キーが登録されていません。 (全末梢後 / 解錠時)	

■コントローラーユニットのブザー音と表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源 	電源が入っています。
報知表示が緑色で点灯 報知 	報知設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯  開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯  解錠	カギが上下2つとも解錠しています。



ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロン、ポロン… ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に 開戸表示が赤色の点灯 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が 一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が 交互に点灯する 電源 □ ↔ 報知 □	躯体内配線コードが短絡して います。	【電気工事区分】 躯体内配線の短絡箇所を確認し 修理してください。
—	開戸表示と解錠表示、報知 表示が同時に点滅する。	制御ユニットとコントローラー ユニット間の通信が24時間 途切れました。	コネクター接続箇所と配線を確認 してください。

商品仕様

■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約8W／待機時：約1.5W
出力電圧	DC7.2V
音量	報知音(大)：約73dB(前方1m)
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
外形寸法(単位mm)	162×120×52 (詳細はP.9参照)

■ACアダプター

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約6.5W／待機時：約0.1W
出力電圧	DC7.2V
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	5~95% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~65℃
外形寸法(単位mm)	右図に記載

■ドア側(AC式)

入力電源仕様	DC7.2V(コントローラーユニットまたはACアダプターより給電)
出力周波数	2402~2480MHz / 13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m / 112dB μ V/m(参考)
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム/ 誘導式読み書き通信設備
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	-10~50℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

■タグキー

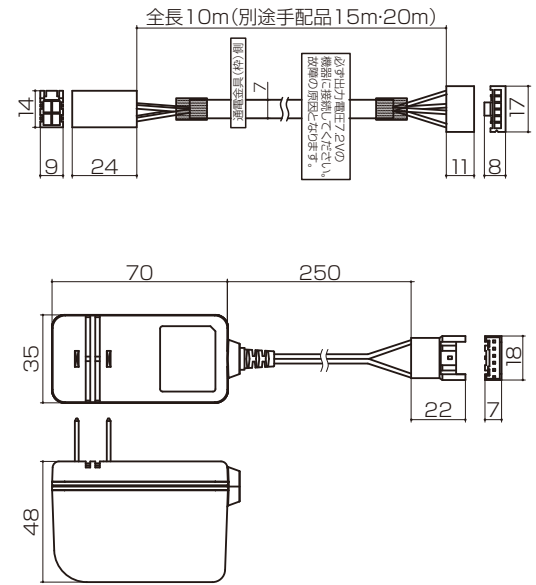
使用環境温度範囲	-20~60℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

■リモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032 2個
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作：10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz
電界強度	85dB μ V/m(参考)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃

■躯体内配線コード 外形寸法

外形寸法(単位 mm)



※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられることがあります。

以下の機器はパナソニック株式会社の製品です。

仕様については、パナソニック株式会社のホームページまたは各機器同梱の取付け説明書を参照ください。

- 電気錠操作押ボタン
- シークレットスイッチ
- JEMA アダプタ
- ドアホンモニター親機
- ドアホンカメラ玄関子機
- ワイヤレスモニター子機

MEMO

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAM-982B | 事業所コード AXU6 | 2024.3.8発行



* B 2 8 6 M A M *
* M A M 9 8 2 B *